

順位 議席 氏名	質 問 事 項
12 番 杉 田 勝 典	<p>1 今後の当市の観光施策について</p> <p>(1) 謙信公祭だけでなく、年間を通じた謙信公アピールイベント（謙信公題材の地元演劇や映画、仮装パフォーマンス、漫才等）を企画できないか。</p> <p>(2) 新たな免税店制度が創設されたが、商店街などに一括カウンターを設置し、外国人旅行客が買い物しやすい体制整備を図ってはどうか。</p> <p>(3) 大河ドラマ「真田丸」に合わせ、周遊ルート「サムライルート」を創出するなどし、上田市等と連携した観光施策を模索できないか。</p> <p>2. 地方創生に向けた施策について</p> <p>(1) 越後田舎体験を拡充し、都市住民との更なる交流を図る考えはないか。また、当市のグリーン・ツーリズムの可能性と課題をどう分析しているか。</p> <p>(2) 「ミニ道の駅」とも言うべき、まちなか交流拠点「まちの駅」を設置し、様々な人の出会いや語り合いによる賑わい創出を図る考えはないか。</p> <p>3. 上越市空き家等の適正管理及び活用促進に関する条例について</p> <p>(1) 空き家バンクなど、現時点で想定している空き家対策の取組を聞きたい。</p> <p>(2) 寄附又は廉価で空き家等を譲り受け、解体や道路拡幅を行い、区画再編後に転売する「ランドバンク事業」を展開する考えはないか。</p> <p>4. 「持続可能な開発のための教育」(ESD) について</p> <p>(1) 学校では、環境や貧困、平和など地球規模の課題を自らの問題と捉え、身近なところから取り組むESDの普及に取り組んでいるか。また、何らかの体制を整備し、本格的に取り組む考えはないか。</p>
21 番 宮 崎 政 國	<p>1. 農業施策の課題について</p> <p>(1) 農地中間管理機構による農地集約について、各都道府県の初年度実績が目標を下回ったことで、抜本的な見直しが急務と報道されている。国が機構へてこ入れすることで市役所の機構業務に影響はないか。</p> <p>(2) 収入減少影響緩和対策（ナラシ対策）の補てん金が平成 27 年 6 月末に支給されるようだが、どの程度の規模となるか。また、資金繰りの厳しい農家に対する効果をどう見込んでいるか。</p> <p>(3) 新たな農政改革により効率的かつ安定的な農業経営の担い手として認定農業者や集落営農等が位置付けられたことから小規模・零細農家の動向が注目されている。農地中間管理機構による借受け、担い手への貸付けの状況はどうか。また、認定農業者の申請状況に変化はないか。</p> <p>(4) 各種農業施策を展開している中で、上越産米の輸出を含めた販路拡大にどのように取り組んでいるか。</p> <p>2. 三和区宮崎新田地内の産業廃棄物の対応について</p> <p>(1) 長年、さまざまな課題で推移してきた当該地域の現状をどのように認識しているか。</p> <p>(2) 先の定例会で今後の取り組みを示唆しているが、具体的な方策をどのように考えているか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
3 29 番 永 島 義 雄	<p>1. 市民の声に対する市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 本町3丁目から中央橋までの「都市計画道路本町鴨島線」の周辺には、郵便局や幼稚園、小中学校や高校などが点在しており、歩行者の往来が多い。また、高田公園内に（仮称）厚生産業会館の建設も予定されており、今後の賑わいも期待できる。この道路に沿って、雁木の設置を望む声がある。当市は「雁木のあるまち」を全国に発信しており、こうした市民の声に応えるべきと思うが、市長の考えを聞きたい。</p> <p>(2) 高田郵便局の駐車場が狭く、特に年末年始の混雑時には、市民はきわめて不便を強いられている。一方、郵便局に隣接する公園は、ほとんど利用者がいないが、公園を駐車場用地として郵便局に売却する考えはないか。</p> <p>(3) 開業した北陸新幹線と並行在来線の接続について、その不便さや、対応の不備に怒りの声さえ聞こえるが、市長は、現状の課題をどのように認識しているのか。また、その課題解決に向けて、どのように要請しているのか聞きたい。</p> <p>(4) 県立武道館の建設地として当市が最も望ましいと公表されたが、その後、一切情報がない。武道館建設について、市として、どのような希望、意見を県に伝えているのか。また、上越地域の武道団体等を含め、広く市民と情報交換する場を持つ考えはないか。あわせて、武道館開館まで、地元はただ黙って見ているだけなのか、市長の考えを聞きたい。</p>
4 26 番 近 藤 彰 治	<p>1. 観光行政について</p> <p>(1) 今年の観桜会の入込数が過去最高となり、大変喜ばしいことだが、例年よりも少ないと感じた人も多いようである。入込数はどのようにカウントしているのか。</p> <p>(2) 新造船「あかね」が就航したが、以下のことを聞きたい。 ア 当市における波及効果をどのように見込んでいるか。 イ 観光客が当市を素通りすることを懸念しているが、方策はあるのか。</p> <p>(3) 新水族博物館の目玉の一つとして計画されている通年のイルカショーについて、今後、イルカの入手が困難になると報道されているが、市としてどのように対応する考えか。</p> <p>(4) 北陸新幹線が開業したが、現在までに開業効果が期待どおりに現れてきているか。また、これまでの経緯を踏まえ、今後の政策的課題について聞きたい。</p> <p>(5) 釜蓋遺跡ガイダンスがオープンしたが、上越妙高駅西口すぐでありながら観光客等へのインパクトに欠けている。観光的要素のあるモニュメント等を設置してはどうか。</p> <p>2. 駐車場問題について</p> <p>(1) 高田公園の駐車場について、先の3月定例会で今後の検討を示唆しているが、検討結果はどうなったか。</p> <p>(2) 上越妙高駅の駐車場について、以下のことを聞きたい。 ア 駐車場のスペースが足りず、4月中旬からは臨時有料駐車場も開設したが、路上駐車等の問題は解消されたか。 イ 東口ロータリー駐車場を横断する際の安全対策を改善できないか。また、利便性が悪い東西料金ゲートの出口を改善できないか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
5 7 番 中 川 幹 太	<p>1. 人口減少社会に対応した英語教育の充実について</p> <p>(1) 人口減少対策として、政府は移民の受入れ拡大を検討している。今後、移民が増加すれば、市民の英語能力が問われることになる。金沢市は、「金沢世界都市構想」を掲げて英語教育に力を入れているが、当市でも、すべての市民が英会話できる社会を目指し、構想を持つべきだと考える。市長の考えを聞きたい。</p> <p>(2) 市民への英語の普及啓発について、他市では、市内在住の外国人との交流事業や、市主催の英語スピーチコンテストなどを実施している例がある。当市でもこのような事業を実施する考えはないか。</p> <p>(3) 外国人の就労環境整備のため、企業が社員に対して行う英語教育を支援する考えはないか。</p> <p>(4) 金沢市では、小学1年生から「聞く・話す」を中心とした教育課程を取り入れ、中学では英検と英語能力判定テストを導入してレベルを高めるなど、早期の英語教育に取り組んでいる。平成32年から始まる小学校での英語の教科化を待たず、小学1年生から英語教育を実施する考えはないか。</p> <p>(5) 他市では、生徒の習熟度に応じて、英語の補充指導を行っている例がある。特に、金沢市では独自に英語副読本を開発して指導している。当市でも、補充指導の体制整備や、副読本などの教材開発に取り組む考えはないか。</p>
6 2 番 石 田 裕 一	<p>1. サッカー場建設や芝グラウンドの整備について</p> <p>(1) 市内には、コート2面を備えたサッカー場がないため、県大会等の開催時には、刈羽村や妙高市の会場を借りている現状にある。上越妙高駅が開業し、上信越自動車道の4車線化も計画されている現在、当市は大規模大会を開催する上での拠点地域となりうるが、サッカー場を建設する考えはないか。</p> <p>(2) ユートピアくびき内のふれあいグラウンドは消耗が激しく、ピッチの人工芝の張替が必要である。また、春日新田にあるスポーツ公園内の天然芝グラウンドは雨天時には使用できないなどの不便がある。これら既存の施設について今後整備を進める考えはないか。</p> <p>(3) 上越妙高駅近くにある今泉スポーツ広場のグラウンドを芝生化し、利用を促進する考えはないか。</p> <p>2. スポーツを通じた地域コミュニケーションづくりについて</p> <p>(1) 総合型地域スポーツクラブを中心にスポーツ振興を図り、地域コミュニケーションを活性化させる考えはないか。</p> <p>3. 投票率の向上について</p> <p>(1) 最近、各種の選挙で投票率が低い状態が続いている。4月の県議会議員一般選挙でも投票率は49.7%となり、初めて50%を下回った。投票率の向上に向けた選挙管理委員会の取組状況と今後の対策を聞きたい。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
7 6 番 波 多 野 一 夫	<p>1. 保倉川放水路の整備について</p> <p>(1) 今回、国が関川水系河川整備計画の再点検を行うことになったが、平成8年の放水路ルート案公表以降から、この方針に至るまでの間の保倉川治水対策の進捗状況と地域の合意形成がなされなかったことを踏まえ、改めて放水路整備に対する市長の認識を聞きたい。</p> <p>(2) 関川流域委員会が7年ぶりに開催され、河川整備計画の再点検を行う目的で「関川・保倉川治水対策検討部会」が設置された。なぜこの段階で部会が設置され、計画を再点検することに至ったのか。その経緯と意図を聞きたい。</p> <p>(3) 保倉川治水対策に関して、ようやく関係町内との協議の場の道が開けたと認識しているが、今後地域の合意形成を図るため、市としてどのような取り組みを考えているのか。</p>
8 20 番 武 藤 正 信	<p>1. クリーンエネルギーの活用について</p> <p>(1) 小水力発電は全国の一級水系での従属発電所数が累計で118件ある。そのうち農業用水のみを利用する発電所が76件と最も多いが、当市も小水力発電に取り組む考えはないか。また、ある自治体では湧き水を利用した発電に取り組んでいるが、維持管理費は安価と聞いている。当市も取り組む考えはないか。</p> <p>(2) 雪冷熱エネルギーは既に当市の公の施設等で活用しているが、今後もっと積極的に活用していく考えはないか。</p> <p>2. 農地等の有害獣対策について</p> <p>(1) 電気柵導入の普及により、イノシシによる農地の被害面積は減少傾向にあるが、被害範囲は市内全域に拡大している。当市ではどのような予防策を講じているのか。</p> <p>(2) 他の自治体によっては鹿が急増し、農作物の被害が拡大している。今後、当市にも被害が及ぶ可能性もあると思うが、予防策についての考えを聞きたい。</p> <p>(3) 市内で熊出没が頻繁に報告されている。人的被害が出てからでは遅いので、早急に対策を講ずる必要があるのではないか。</p> <p>3. 公の施設の再配置計画について</p> <p>(1) 再配置計画では、旧上中山小学校体育館が平成28年度供用停止、29年度解体撤去する方針が示された。以前、教育委員会では黒川小学校の校舎・体育館を解体撤去する際、地域住民には代替施設として旧上中山小学校体育館を促していたが、この方針についての教育委員会の見解を聞きたい。</p> <p>(2) 旧上中山小学校体育館は、災害時の指定緊急避難場所となっている。解体撤去した場合、代替施設はどこを想定しているのか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">9</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">16 番 飯 塚 義 隆</p>	<p>1. 上越地域医療センター病院の改築について</p> <p>(1) 市長は、センター病院が地域医療の要を担っていくとし、老朽化した施設の改築を検討している。センター病院改築の必要性は理解するが、以下の点について聞きたい。</p> <p>ア 地方都市における医師確保や、変化する国の医療制度など、今後の病院経営には難しさもある。これらの課題をいかに克服していく考えか。</p> <p>イ 改築に当たり、いかに魅力ある病院づくりを進めるかも重要な要素となるが、市長の考えを聞きたい。</p> <p>ウ 改築を含めたセンター病院の将来の在り方について、検討を進め、課題を整理しているが、検討結果はいつ頃示されるのか。</p> <p>エ 改築に当たっては、合併特例債の活用も視野に入れて検討しているが、大枠での事業スケジュールを示すことはできないか。</p>
<p style="text-align: center;">10</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">13 番 草 間 敏 幸</p>	<p>1. 頸北地区の地域医療について</p> <p>(1) 現在、柿崎・大潟・吉川区の医師数は17人、人口に対する医師の数は全国平均の約1/3である。地域医療の中心である県立柿崎病院は、地域を守る病院として病気の治療とともに健康づくりに貢献し、地域住民に信頼される病院であるが、医師不足が喫緊の課題となっている。市は県立柿崎病院をはじめ、頸北地区の地域医療をどう考えているか。</p> <p>(2) 平成18年4月12日、民間で県立柿崎病院を支援する柿崎病院後援会を設立し、病院存続と医師招へいなどの機能充実を図るための活動を行っている。市はその取組に対して設立当初から支援してきたが、今後についてどのように考えているか。</p> <p>2. えちごトキめき鉄道開業に伴い値上げとなった通学用定期券について</p> <p>(1) 柿崎・大潟区から高田地区へ通学する多くの世帯からは、値上げ幅が大きいと、負担軽減を望む声が寄せられている。大潟区地域協議会では市に補助制度などを求める意見書を提出した。柿崎区地域協議会も意見書提出の方針を決めた。市は住民に値上げの理由についての丁寧な説明をする必要があるのではないか。また、市独自の負担軽減措置は制度設計が難しく考えていないとしているが、これらの状況を踏まえ、改めて考えを聞きたい。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
11 4 番 小 林 和 孝	<p>1. 春日地区への消防署の設置について</p> <p>(1) 市長は平成24年6月定例会の一般質問で、新幹線周辺の新たな地域、市街地形成などの状況も視野に入れ、上越地域消防事務組合の管内全域における消防防災力の向上を図る必要があるとの認識を示した。また、春日地区における必要性も含め、今後の消防施設のありようについて、組合、妙高市、当市の間で協議が進むよう願っているとしている。上越妙高駅の開業、山麓線の開通など、当市は大きく変化したが、改めて、春日地区への常備消防の必要性について、市長の考えを聞きたい。</p> <p>(2) 春日地区に最も近い消防署は、上越北消防署であるが、春日地区とは関川で隔てられており、水害時にはその機能が十分に発揮できない事態が想定される。こうした観点からも、春日地区への常備消防設置は必要だと考えるがどうか。</p> <p>2. 小学校間の交流による当市の一体感の醸成について</p> <p>(1) 現在各小学校では、総合学習などの時間を使って、地域の宝を学び、地域愛を育む授業を行っている。こうした活動を各小学校同士の交流に発展させ、お互いの地域の宝を学び合い、当市の一体感を醸成することはできないか。</p>
12 17 番 渡 邊 隆	<p>1. 消融雪施設整備計画における消雪パイプの新規設置について</p> <p>(1) 地下水揚水規制区域内では、県条例の規制があるため、消雪パイプの新規設置要望については、地下水を利用しない消融雪施設（加温消雪パイプ、地中熱等）の活用を検討するとあるが、活用に向けて専門的に研究、検討を行う考えか。</p> <p>(2) 昨今、全国の自治体の中でも既存の下水道から発生する「熱やガス」を再生可能エネルギーとして活用する動きが顕著である。これらのエネルギーを加温消雪の熱源へと転換し、活用することができれば、加温消雪パイプのランニングコストの低減と下水道施設の維持管理コストの削減効果は高いと考える。市長の見解を聞きたい。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
13 24 番 上 松 和 子	<p>1. 高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種について</p> <p>(1) 現時点での接種率かどうか。また、今後の接種率の見通しをどのように考えているか。</p> <p>(2) 県内で個別通知を実施している自治体を把握しているか。</p> <p>(3) 個別通知の有無による接種率への影響は大きいと考える。当市においても個別通知は必要と考えるが市長の考えを聞きたい。</p> <p>2. 図書館利用の拡大について</p> <p>(1) 障がい者や高齢者、介護者など、図書館に出かけるのが困難な人を対象に、自宅に本を届ける図書宅配サービスを実施できないか。</p>
14 5 番 滝 沢 一 成	<p>1. DMOについて</p> <p>(1) 当市におけるDMOの状況はどうか。</p> <p>(2) 当市における、民間を含む観光振興の現在のありようは、最適な体制になっていると考えるか。</p> <p>(3) 広域DMOについての考え方を聞きたい。「越五の国」が最適な広域連携だと考えるか。</p> <p>(4) 正確なデータに基づく観光マーケティングが必要だが、市長はどう考えるか。</p> <p>2. 地方創生について</p> <p>(1) 平成28年度以降、どのように「地方創生」を進めていくべきだと考えるか。市長の基本的な考え方を聞きたい。</p> <p>(2) 上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会の役割は何か。</p> <p>(3) 当市における地方版総合戦略は、どのような組み立てとなることを期待するか。また、そこには具体的な事業も盛り込まれるのか。</p> <p>(4) 各部会へのワークショップへの参加資格について、基準はあるか。また、ワークショップへの参加が、具体的な事業提案の条件なのか。</p> <p>3. 当市における各種組織の名称について</p> <p>(1) 「上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会」「地域包括支援センター」「上越パーソナルサポートセンター」など、名称を聞いただけではその役割がよくわからない組織が多い。市民に分かりやすい名称をつけることはできないか。</p> <p>4. 高田地区のカラスと高田公園内堀のバスについて</p> <p>(1) 高田地区にカラスが多い理由を承知しているか。また、カラスを減らすことを考えないのか。</p> <p>(2) 高田公園内堀のバスの駆除をどのように進める考えか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">8 番 平 良 木 哲 也</p>	<p>15</p> <p>1. 原子力発電所について</p> <p>(1) 福井地方裁判所が4月14日に出した関西電力高浜原発3、4号機の再稼働差止めの仮処分決定は、地震想定信頼性を問題視していること、住民の生命や利益に関わる人格権が侵害される具体的な危険を指摘していることなど、市民の安全を確保する点で非常に重要な決定だと考える。泉田知事も規制基準の問題を指摘した点を評価しているが、市長はこの仮処分決定をどのように評価しているか。</p> <p>(2) 4月22日に国が全部改正した「原子力災害対策指針」のうち次の点について、市長はどのように考え、どのように対処する考えか。</p> <p>ア UPZ（緊急時防護措置準備区域）外の地域における防護対策</p> <p>イ 安定ヨウ素剤の配備・服用</p> <p>ウ SPEEDIの活用</p> <p>エ UPZ外における避難困難者への対応</p> <p>オ 住民が必要とする市の施策への財源措置</p> <p>(3) 重大事故に備えた実効性ある避難計画をどのように策定する考えか。</p> <p>(4) 原子力発電所の再稼働に必要な「地元同意」の対象を、県内の全自治体とするよう求めるべきではないか。</p> <p>2. 入札制度について</p> <p>(1) 予定価格130万円以下の工事等について</p> <p>ア 予定価格が130万円以下の工事等のうち、上越市少額工事等契約希望者登録制度の対象にならない請負はあるか。</p> <p>イ 上越市少額工事等契約希望者登録制度の対象となる請負のうち、同制度の登録業者以外に発注した請負はないか。</p> <p>(2) 予定価格が130万円を超える工事等について</p> <p>ア 上越市少額工事等契約希望者登録制度の対象とならない工事等のうち、入札によらずに発注する契約にはどのようなものがあるか。また、入札によらずに契約することにより、競争性や公平性を阻害してはいないか。</p>
<p style="text-align: center;">22 番 上 野 公 悦</p>	<p>16</p> <p>1. (仮称) 商店リニューアル支援事業について</p> <p>(1) 3月議会で市長は、(仮称) 商店リニューアル支援事業の提案に対して、「事業者、事業者の団体、そして地元の商店街、そういう皆さんとも議論をしながら、その内容を詰めていければと思っています」と答弁した。その後どのように議論し、検討したのか。</p> <p>(2) 制度創設に向けた市長の考えを改めて聞きたい。</p> <p>2. 「マイナンバー制度」について</p> <p>(1) 国が来年1月からの本格的実施をめざす「マイナンバー制度」について、国は「行政の効率化」を強調しているが、一方で個人情報漏えいし、悪用されることによるプライバシーの侵害なども危惧される。先日日本年金機構の個人情報流出が明らかになったが、市長は、これらの課題に対してどのような認識を持っているか。</p> <p>(2) 公的機関、特に公安調査庁などへの個人情報の提供を広く認める仕組みも国会で明らかになってきている。国による個人情報の一元管理が懸念されるため、「マイナンバー制度」の導入を見合わせるよう、国に求めるべきではないか。</p> <p>(3) 「マイナンバー制度」導入に向けた市の取組状況はどうか。また、当市においては、第三者機関の設置などプライバシー保護のためのシステムをどう構築する考えか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
17 1 番 田 中 聡	<p>1. 自転車通学の安全対策について</p> <p>(1) 6月1日に施行された改正道路交通法では、自転車による交通違反の罰則が厳しくなる。罰則の対象は14歳以上の運転者であるが、自転車通学を行う中学生に対する交通安全指導をどのように実施する考えか。</p> <p>(2) 通学路の安全確保に当たり、交通安全指導などのソフト面で対応出来ない場合、例えば、道路の拡幅や段差の解消などが必要な場合は、道路管理者との連携が必要になるが、連携についての考えを聞きたい。</p> <p>(3) 市街地の通学路において、道路補修の際にオーバーレイによる修繕を重ねたため、道路と歩道の間に段差が発生している箇所があり、自転車通行の大きな危険要因となっているが、改修する考えはないか。</p>
18 30 番 石 平 春 彦	<p>1. 北陸新幹線建設促進運動の総括について</p> <p>(1) これまでの建設促進運動の長い過程を振り返って、開業に立ち会った市長としての総括的な考え方を聞きたい。</p> <p>(2) 駅周辺地区住民の「新幹線のまちづくり」の取組と新幹線建設事業及び駅周辺整備事業への協力について、どのように評価しているか。</p> <p>(3) 上越市新幹線建設促進まちづくり協議会やその前身である北陸新幹線上越駅建設促進対策協議会など、新幹線沿線住民の長年の建設促進運動について、どのように評価しているか。</p> <p>(4) 開業記念誌の編集方針についての基本的な考え方を明らかにされたい。</p> <p>2. 上越妙高駅の利便性・安全性の向上と活用の方策について</p> <p>(1) 観光案内所のイス席スペースを待合所として明確に位置付け、わかりやすい表示板を設置して周知すべきではないか。</p> <p>(2) 待合所の増設と自由通路・脇野田通りへのベンチの増設を考えるべきではないか。</p> <p>(3) 脇野田通りにも表示板を設置し、利用者への利便性向上はもとよりメモリアル視点も含め積極的に周知すべきではないか。</p> <p>(4) エキナカにそば処を誘致できないか。あるいは、SAKURAプラザのえちご食処でそばを提供できないか。</p> <p>(5) メイド・イン上越認証品の売上はどうか。展示品のような体裁で商品かどうか戸惑うという声があるが、売場を改善する考えはないか。</p> <p>(6) 2階のエキナカ（駅構内外）部分に公衆トイレを設置するか、駅構内のトイレをエキナカ利用者にも開放できないか。</p> <p>(7) 東西昇降施設の展望テラスの安全性の向上をどのように検討しているか。</p> <p>(8) 視覚障害者にとってのバリア環境に対し、市としてどのように対応するか。</p> <p>(9) えちごトキめき鉄道の駅構内に未だにメモリアルコーナーが設置されていないが、その理由と今後の見通しを明らかにされたい。</p> <p>(10) 脇野田通りを広場と位置付け、各種催しに開放する仕組みを作るべきではないか。また、市として継続的な催しを積極的に仕掛ける考えはないか。</p> <p>(11) 東西の公園を各種催しに開放する仕組みを作るべきではないか。</p> <p>(12) 東口ロータリー駐車場について、利用車両の道路と駐車場、及び利用者の駐車場と駅のアクセス向上と安全策について、どのように検討しているか。</p> <p>(13) 東口、西口ロータリーの乗降場に駐車している車両の規制を行うべきではないか。</p> <p>(14) 市営駐車場の整備台数と料金体系について、考え方に変更はないか。</p> <p>(15) 上越大通りの上越妙高駅前交差点にアクセスする部分について、暫定的にでも早急に歩道を確保すべきだが、どのように検討しているか。</p>

順位 議席 氏名	質 問 事 項
11 番 大 島 洋 一	<p>19</p> <p>1. 地方創生の総合戦略について</p> <p>(1) 5月29日に上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会が開かれ、地方版総合戦略の検討に着手したが、現時点で、市長は地方版総合戦略の理念、目標、内容をどのように考えているか。また、どのような手順・方法で策定するのか。</p> <p>(2) 次の3点について、具体的な考えを聞きたい。</p> <p>ア 地域経済をどう分析し、認識した上で雇用を創出する考えか。</p> <p>イ 中心部と周辺部の関係をどのように考え、その地域性を総合戦略にどう反映するか。</p> <p>ウ 若者会議などで若者の意見を反映すべきではないか。</p> <p>2. 公の施設使用料の減免基準（素案）について</p> <p>(1) 減免基準見直しの基本的な考え方が示され、減免の対象となる範囲が現在よりも限定される見込みだが、「青少年の健全育成」の面で制度が後退することのないように配慮すべきと考えるが、市長の考えを聞きたい。</p>